

**授業概要**

幼稚園・保育園の教師に必要な専門的な知識と基本的な保育スキルそして感性を身につけることを目的とする。そのために幼児期の発達の特徴を理解し、幼稚園教育の目標と内容、園内の環境構成、幼児期の遊びと学び、子どもの理解、発達に応じた保育方法、保育計画(幼小連携、家庭・地域社会との連携など)、指導案の作成、教師としての心構えなどについて講義する。また、幼児の保育の方法について理解を深めるために、保育場面に生じる「いじめ」「けんか」などを取り上げ考察する。

**授業計画**

第1回	幼稚園、保育園での子どもの生活の様子を知ろう
第2回	乳幼児期の発達の特徴と発達の变化：誕生から乳幼児期まで
第3回	幼稚園教育の目標と内容(幼稚園教育要領から)
第4回	園内の環境構成について
第5回	幼児期の遊びの特徴と発達の意義
第6回	子どもの理解(1)：子どもの理解の意義とその視点
第7回	子どもの理解(2)：仲間はずれへの対応
第8回	子どもの理解(3)：ケンカへの対応
第9回	保育所・幼稚園での保育の視点(1)：小1プロブレムの視点から
第10回	保育所・幼稚園での保育の視点(2)：父親の子育て参加と家庭・地域連携の視点から
第11回	保育所・幼稚園での保育の視点(3)：父親と母親の協力的関わりの視点から
第12回	気になる子への対応：原因の探求と関わり方(家庭での養育と子どもの問題行動との関連)
第13回	園における指導計画について(1)：①教育課程と指導計画の関係 ②作成上の留意点
第14回	園における指導計画について(2)：一日の生活の指導案作成
第15回	教師としての心構え：①影響を与える立場としての心構え ②ストレス対応と精神保健
第16回	筆記試験

**到達目標**

- ①園内環境を通して行われる保育の実態と特質について理解することができる。
- ②子どもの理解の重要性を認識し、個々の園児に適切に関わり、共感的理解と客観的理解ができる。
- ③実習において指導計画(一日の生活の流れを予想した指導計画)を作成することができる。

**履修上の注意**

- ①私語などは慎むこと。
- ②毎回出席を取るのだから休まないこと。
- ③授業には積極的に参加すること。授業中は質問していくので積極的に発言するように心掛けること。
- ④内容によって、授業の中で小テストを行う。

**予習復習**

各回の授業については事前に目を通し調べておくこと。また、各授業の中で分からないことがある場合はそのまましておかず、質問して理解を図るように努めること。授業の内容によっては、予習・復習をかねてレポートを課すことがある。

**評価方法**

課題に応じて課すレポート(50%)、筆記試験(50%)により合わせて総合的に評価する。

**テキスト**

- ①「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説書」「幼稚園教育指導料第1集 指導計画の作成と保育の展開」フレーベル館
- ②授業は資料の配付、DVDによる理解を図りながら進めるが、基本的にはテキストに基づいて進める。また、関連する図書は適宜紹介する。